

投 稿 規 定

(2025年6月4日改訂)

1. 投稿原稿は原著、症例報告、総説、編集者への手紙で、小児外科学の進歩発展に寄与し、他誌に発表されていないものに限ります（ホームページに掲載の「二重投稿について」を参照）。

筆頭著者は原則として本学会会員に限ります。ただし会員の推薦があれば本学会会員でなくても受け付けます。

共著者は、論文に関する研究の計画作成、データの収集、解析、解釈、論文の執筆、校正のいずれかに関与した者に限ります。これら共著者全員の役割を、本文の最後に具体的に記載してください。

著者もしくは共著者のなかで、機関誌編集部との連絡の中心となり、かつ投稿前の全著者による原稿の承認に責任を持つ者を *corresponding author* として定め、表紙にその連絡先を記載してください。

2. 投稿論文（ヒトおよびヒト以外を対象とした研究を含む）の作成には「医学研究および研究発表における倫理的問題に関する見解および勧告」（ホームページに掲載の「医学研究および研究発表における倫理的問題に関する見解および勧告」を参照）と「症例報告を含む医学論文及び学会研究発表における患者プライバシー保護に関する指針」（平成27年8月28日改正、外科関連学会協議会）（ホームページ機関誌委員会資料「症例報告を含む医学論文及び学会研究発表における患者プライバシー保護に関する指針」を参照）を遵守してください。尚、掲載された論文を含む機関誌の内容は外部データベースに保存され一般公開されます。

ヒトを対象とする研究においては所属施設の倫理委員会の承認を得た旨を記載してください。介入研究のみならず観察研究（後ろ向き研究も含む）も倫理委員会の承認を必要とします。症例報告が倫理委員会の承認を必要とするかは所属施設の基準に準じ、審査不要の場合は原稿内にその旨を記載してください。

保険外診療や適応外使用に関しても、倫理委員会の承認を得た旨を記載してください。

倫理委員会の無い施設から投稿する場合は、関連の大学病院や医師会などの倫理審査制度を利用してください。

3. 投稿者（共著者を含む）は、日本小児外科学会ホームページに定める“臨床研究の利益相反に関する指針”に従い、利益相反状態を明らかにするため、全著者が様式2に記入し、*corresponding author* がまとめて機関誌委員会宛に提出してください（PDFでも可）。

4. 原著、症例報告、総説の種別は最終的に機関誌委員会で決定します。論文の採否は査読後、機関誌委員会および編集人（機関誌委員会委員長）が決定します。また編集者への手紙は編集人が採否の決定を行います。

5. 投稿原稿の用語は「日本医学会医学用語辞典改訂第3版」（日本医学会医学用語管理委員会編、南山堂、2007）、「医学会医学用語辞典Web版」<http://jams.med.or.jp/dic/ndic.html>あるいは、「外科学用語集（第1版）」（金原出版（株）、2003）「日本外科学会外科学用語集Web版」<http://youshosyu.jssoc.or.jp>に従い、度量衡はCGS単位（mm, cm, m, mg, kg, °C, mEqなど）を用いてください。

投稿原稿は以下の形式に従ってください。

I. 原著、症例報告、総説

1) 表紙

表題、著者名、所属機関名、*corresponding author* の氏名、所属、郵便番号、住所、E-mailアドレス、電話番号、そして表および図の数、編集者への連絡事項（原著、症例報告、総説のいずれに掲載希望かなど）を記入してください。

著者数は共著者を含め10名以内とします。所属機関が複数の場合は^{1, 2}で分類してください。

2) 要旨・索引用語

要旨は原著で700字以内、症例報告、総説で400字以内とし、原著では目的、方法、結果、結論の順にまとめてください。また、5語以内の索引用語が必要です。

3) 本文

原著はIはじめに、II対象と方法、III結果、IV考察の順に、症例報告はIはじめに、II症例、III考察の順に本文を構成してください。本文末の「まとめ」、「結語」などは要旨と重複するため省略します。総説も本文の項目はI, II, III, ……とします。

各項目内の番号は、1, 2, 3, ……, 1), 2), ……, a, b, c, ……, a), b), c), ……, とします。

利益相反、謝辞、学会発表歴などは本文の末尾に付記してください。

文献の引用箇所には文献番号に片括弧をつけて文字列の右肩に加えます。

例：* * *¹⁾, * * *¹²⁾, * * *¹⁾¹³⁾⁻¹⁶⁾

4) 文献

文献は引用順に番号をつけ、本文の後に記載します。文献の著者は3名までを明記し、4名以上の場合は「他」または「et al.」とします。欧文誌の略記はMedline/Index Medicusに従い、邦文誌の略記は医学中央雑誌収載誌目録の略記に従います（略記が無いときは各誌に記載されている略記名を用いてください）。

文献記載例雑誌：

1) 田中水緒、北野良博、上妻志郎、他：離脱型バルーンと専用喉頭鏡を用いた胎児気管閉塞術の開発。日小外会誌, 39: 909-916, 2003.

2) Langwieler T, Fiegel HC, Alaamian M, et al.: The relationship of diaphragmatic defect, liver growth, and lung hypoplasia in nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia in the rat. Pediatr Surg Int, 20: 509-514, 2004.

3) Bajpai M, Das K, Gupta AK: Caudal duplication syndrome: More evidence for theory of caudal twinning. J Pediatr Surg, 39: 223-225, 2004.

単行本：

1) 井村賢治：患児の搬送。岡田正編：系統小児外科学。pp. 102-108. 永井書店、大阪、2001.

2) Tsuchida Y, Suzuki N: Hepatic tumors. In Puri P (ed): Newborn Surgery (2nd ed). pp.

739-745, Arnold, London, 2003.

抄録（学会発表）：

- 1) 田口智章, 水田祥代, 家入里志, 他: Hirschsprung 病の診断と治療の変遷：全国アンケート調査1998-2002年より. 日小外会誌, 40: 395, 2004.
- 2) Willital GH, Saxena AK: Chest deformities: Classification, secondary pathology, indication for surgery, minimal retrosternal surgery and late results. Abstract of the 36th Congress of the Italian Society of Pediatric Surgery, pp. 123, 2004.

Personal communication（私信）：

- 1) D'Angio GJ (personal communication) または松山四郎（私信）

URL : <http://www.jsps.or.jp/> (2021年7月1日閲覧)

5) 表, 図

表, 図は番号を付してください。

図や写真はそのまま印刷できる明瞭なものとします。図の説明は図とは別にまとめてください。

6) 動画を挿入する場合は、動画データはMP4形式とし、1点2分以内、容量は1ファイル10MB以内、動画の個数は合計2点までとします。各動画には番号を付し、動画の説明は別にまとめてください。動画は写真などでは分かりにくい場合の補助的な位置づけです。論文は動画なしで内容が完結するようにしてください。動画の有無や内容は、採否の判断材料とはされません。

7) 英文抄録

英文抄録は表題、著者名、所属機関名、corresponding author の郵便番号および住所、抄録文（250語以内）、key words とし、内容は和文要旨と異なるようにしてください。原著論文では purpose, methods, results, conclusions の順で記載してください。Key words は5語以内とし、Medical Subject Headings 所載のものとします。

II. 編集者への手紙

本誌に掲載された論文に対する意見や短報を掲載希望の方は、800字以内の手紙としてまとめてください。3編までの文献は引用できますが、表、図などを含めることはできません。

6. 原稿は表紙、要旨、本文、著者役割、文献、表、図の説明、図、動画の説明、英文抄録の順とします。頁数は表紙を1頁目としてページ番号を挿入します。表紙から文献までは32字×25行/1頁とし、英文抄録はダブルスペースとしてください。原稿には貢ごとに行番号を追加してください。

原稿は下記の方法で、E-mail にて機関誌委員会宛に送付してください。

文字原稿、表、図すべてを1つのWordファイルまたはPDFファイルにまとめて、動画ファイルと合わせてE-mailに添付の上送付してください。容量が理由でE-mailで送付できない場合は編集部にご相談ください。投稿前に、「投稿時のチェックリスト」に従って原稿をチェックしていただき、チェックリストも原稿と共に提出してください。ファイルは、日本小児外科学会ホームページ (<http://www.jsps.or.jp/>) からダウンロード可能です。

送付先：中西印刷株式会社内

日本小児外科学会機関誌委員会

E-mail: jsps-hen@nacos.com

TEL: 075-441-3155, FAX: 075-417-2050

7. 原稿受領後、受領メールを corresponding author 宛に送付いたします。査読には概ね3ヶ月を要します。査読後の再投稿は原則6ヶ月以内を期限とし、再投稿期限延長の申し出があった場合でも、1年を過ぎた場合は審査を打ち切りとします。採用の場合には、図や写真は高品質のものを提出していただくようにお願いすることがあります。

8. 校正は著者校正1回を原則とします。校正は誤植の訂正にとどめ速やかに返送してください。

9. 会告、委員会報告ならびに地方会・研究会の抄録掲載会告（日本小児外科学会学術集会・秋季シンポジウムを除く）を刷り上り2分の1頁（47字×20行）を超えない範囲で掲載いたします。

委員会報告は同8頁以内とし、これを超過する際には財務会計委員会（必要な場合には理事会）の承認を経てください。

地方会・研究会の抄録は題名、発表者名、所属および400字以内の本文とし、掲載料はそれぞれの地方会・研究会の負担とします。

いずれもWordファイルとして機関誌委員会宛にE-mailで送付してください。

10. 掲載料、別冊代金、図表作製

掲載料として一律5,000円を申し受け、原著、総説は刷り上り4頁まで、症例報告は同3頁までを無料とし、超過分は1頁7,500円を著者負担とします。地方会・研究会の抄録は1頁15,000円です。

別冊は実費となります。また、図表を作製した場合には著者負担とします。

11. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、本学会に所属します。

1) クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CC BY-NC-SA）における条件の範囲内において、複製または頒布することができるものとします。

2) 複写に係わる権利などに関しても、本学会がその権利を有します。

3) 商業目的と翻訳に関しては、原則として著者の同意を得た上で許諾します。

12. 二次出版（secondary publication）について

他誌において発表された原著、症例報告の本誌における二次出版は原則として受け付けません（1.項参照）。ただし、診療ガイドラインなどはこの限りではありませんが、掲載の可否に関しては機関誌委員会に一任ください。

一方、本誌に掲載された原著、症例報告など（一次出版）を他誌において二次出版（再発表）する場合には、著者は二次出版の編集者と機関誌委員会の双方から許可を得てください。その際、二次出版は一次出版のデータや解説を忠実に反映していること、および二次出版に初出論文（一次出版）を明記し内容が既報であることを明らかにする必要があります。また、出版された内容の著作権は一次出版（日本小児外科学会）に所属します。

（International Committee of Medical Journal Editors の規定（2019年12月改訂）を参考）

投稿時のチェックリスト

日本小児外科学会雑誌に論文を投稿していただきます際には、以下の項目をご確認の上、該当する回答に○印を付けてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. 筆頭著者は日本小児外科学会の会員ですか
(“いいえ”的場合は、学会員からの推薦状を提出してください) | はい · いいえ |
| 2. 和文要旨、英文抄録の字数制限は守られていますか
(和文要旨は文字数、英文抄録は単語数でカウントしてください) | はい · いいえ |
| 3. 和文要旨と英文抄録は整合していますか | はい · いいえ |
| 4. 英文抄録の文法・文章表現は適切ですか | はい · いいえ |
| 5. 形式が投稿規定に適合していますか | はい · いいえ |
| 6. 度量衡は CGS 単位系に統一されていますか | はい · いいえ |
| 7. 文献は正しく記載されていますか
(投稿規定の記載例に従って記載してください) | はい · いいえ |
| 8. 日本語索引用語と英文 Key words の内容は同じですか | はい · いいえ |
| 9. 論文末尾に利益相反のすべての開示事項を明記されましたか
(利益相反状態が何もない場合もその旨明記してください) | はい · いいえ |
| 10. 研究内容の倫理的側面と患者プライバシーの保護について指針が遵守されていますか
(投稿規定 2. 参照) | はい · いいえ |
| 11. 倫理委員会などの承認が必要な研究である
(基本的に、原著の場合は倫理委員会の承認が必要です) | はい · いいえ |
| 12. 倫理委員会による審査・承認を得ている場合、
承認番号を右欄に記載してください | 承認番号：
() |
| 13. 倫理委員会による審査・承認の要・不要を原稿に記載しましたか
(審査が不要の場合もその旨記載してください) | はい · いいえ |
| 14. 論文末尾（文献の前）に著者全員の役割を記載しましたか | はい · いいえ |
| 15. 共著者は全員原稿をチェックしましたか
(Corresponding author は、全著者による原稿の承認に責任を持つ必要があります) | はい · いいえ |

投稿者名（代表）：

日本小児外科学会雑誌 利益相反自己申告書

(様式 2)

日付： _____

氏名： _____

原稿タイトル： _____

透明性の確保のため本原稿の内容に関連性を持つ以下のすべての関係／活動／利益を開示してください。「関連性を持つ」とは、本原稿の内容と利害関係を有する営利または非営利の第三者との関連性の存在をいいます。この開示は透明性への取り組みの姿勢を示すものであり、必ずしも不公正が存在することを示すものではありません。関係／活動／利益を開示するかどうか疑問がある場合は、開示することが望ましいです。

著者の関係／活動／利益は広く定義してください。例えば、高血圧の疫学に関する原稿である場合には、当該薬の記述が原稿になくても、降圧薬の製造業者とのすべての関係を開示する必要があります。

下記のうち項目番号 1 については、本原稿の報告内容に関して受けたすべての支援を期間の制限なく記述してください。他のすべての項目については、開示の期間は過去 36 か月です。

論文が採択された際には、すべての開示事項について以下のように論文末尾に印刷されます。

例) 利益相反申告：

A (氏名) は Z (団体名) のコンサルタントとして従事している。B の配偶者は Y の役員である。C は X から研究助成を得ている。D は V から講演料を得ている。E は U に関する特許権使用料を得ている。F は個人の学会参加費を T から受けている。G は S に対する販売促進資料作成に関する報酬を受けている。H は申告すべき利益相反状態はない。

申告対象期間：研究の初期計画以後			
	関連性を持つすべての組織・団体名称の記載、なければ“なし”にチェック (必要に応じ行を追加)	具体的な内容 / コメント (例：支払が自己に対するものか、自己が所属する組織に対するものか。)	
申告対象期間：過去 36 か月			
1 論文投稿に至る迄のすべてのサポート (例えば、資金提供、研究材料の提供、執筆代行、論文作成経費等) 対象期間に制限はありません。	<input type="checkbox"/> なし		
申告対象期間：過去 36 か月			
2 組織・団体から所属機関への助成金や契約による資金提供 (上記項目 1 に適用できない場合)	<input type="checkbox"/> なし		
3 使用料またはライセンス	<input type="checkbox"/> なし		

		関連性を持つすべての組織・団体名称の記載、なければ“なし”にチェック(必要に応じ行を追加)	具体的な内容 / コメント (例: 支払が自己に対するものか、自己が所属する組織に対するものか。)
4	コンサルティング料	<input type="checkbox"/> なし	
5	講演、プレゼンテーション、原稿執筆、教育イベントに対する報酬または謝金	<input type="checkbox"/> なし	
6	鑑定人としての証言の報酬	<input type="checkbox"/> なし	
7	会議や出張の参加費支援	<input type="checkbox"/> なし	
8	特許(計画、発行、または出願中)	<input type="checkbox"/> なし	
9	データ安全監視委員会または諮問委員会への参加	<input type="checkbox"/> なし	
10	有給無給を問わず、他の理事会、学会、委員会または擁護団体におけるリーダーシップまたは受託者の役割	<input type="checkbox"/> なし	
11	株式または株式オプション	<input type="checkbox"/> なし	
12	機器、材料、薬剤、医学論文執筆、贈答品または他のサービスの受領	<input type="checkbox"/> なし	
13	その他の金銭的または非金銭的利益	<input type="checkbox"/> なし	

同意を示すため、下記のチェックボックスに“✓”を付けてください。

私はこの申告書のすべての質問に答え、どの質問の文言も変えていないことを証明します。

Corresponding authorは、記載された全共著者の自己申告書をまとめ、投稿論文と共に日本小児外科学会雑誌機関誌委員会宛に送付してください。

(共著者から個別に機関誌委員会に送付しないでください)

原稿番号(編集部で記入): _____